

新型コロナウイルス感染症による業務への影響について

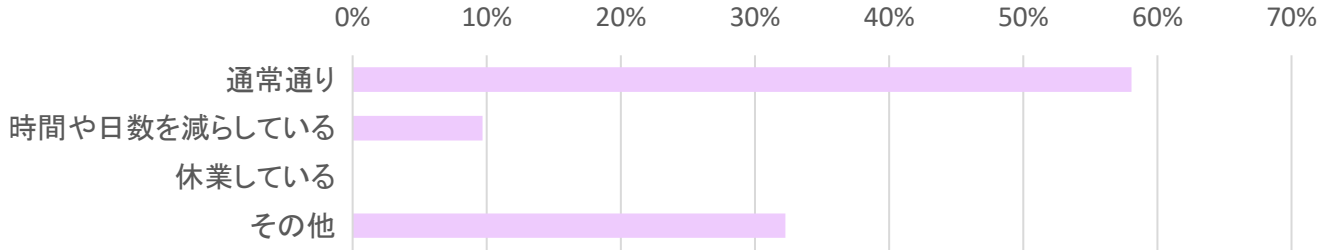
(ケアマネージャー)

■調査日:令和2年5月上旬

■回答数:

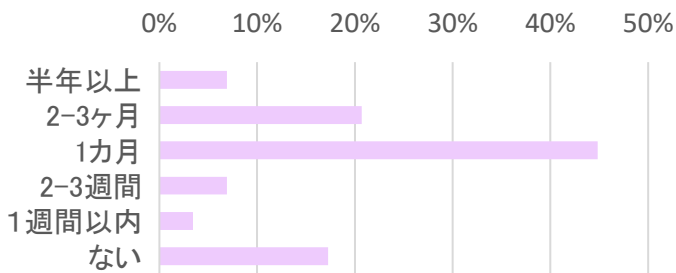
旭区内の居宅介護支援事業所等の
ケアマネージャー 31名

通常通りの業務ができていますか

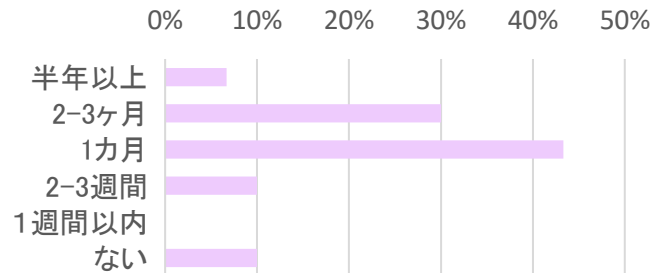


(その他) ・在宅勤務とフレックス勤務で対応 ・対面訪問を控えている ・時差出勤 ・在宅勤務

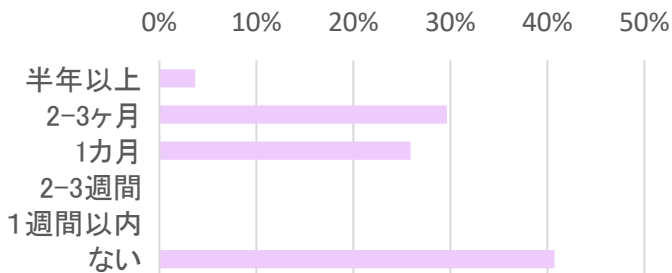
マスクの保有状況(残り)



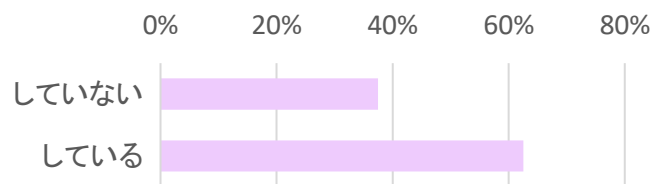
手指消毒用アルコール保有状況(残り)



介護用手袋の保有状況(残り)



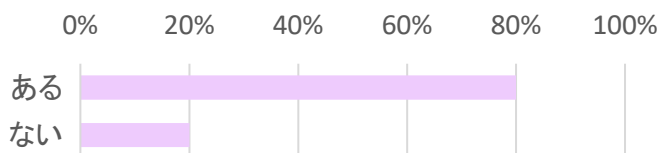
マスクを洗浄・消毒するなどして再利用



- ・手作りマスクも併用
- ・布マスク(配布されたものを毎日洗濯)
- ・使い捨てマスクを2日で1枚
- ・高い値段でネット購入
- ・洋裁好きなスタッフが手作り。マスクカバーも作ってマスクの上からカバーし、マスクを長く利用
- ・職場の同僚、利用者さま家人が手作りマスクを作って下さりいただいた

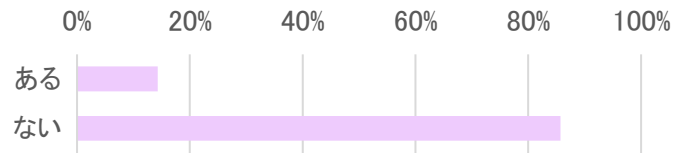
2月以降、国・自治体・団体等から「マスク」の提供や寄付を受けたことがありますか

(マスク)



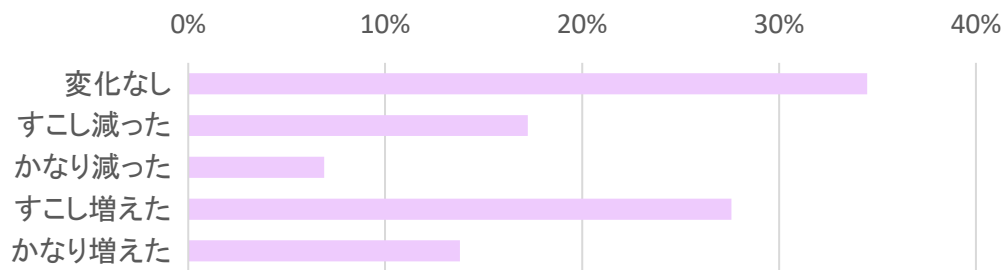
(マスク) ・厚労省/国から1-10枚(3-4月)

(消毒液)



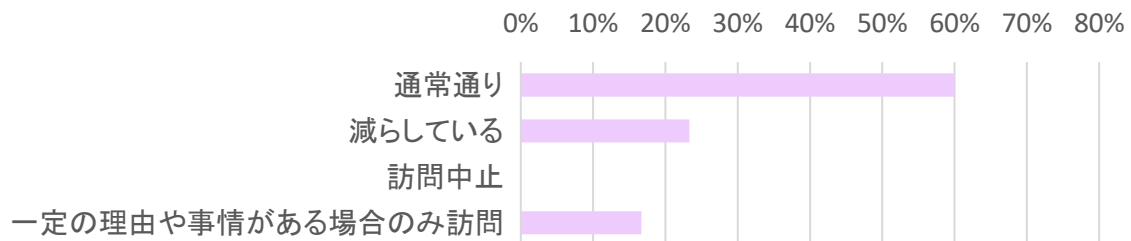
(消毒液) ・福祉局から(3-4月) ・関連会社から(4月頃)

新型コロナウイルス感染症の影響で相談が増えましたか



- ・デイの休みや体調不良。受診について
- ・対象者自身がコロナウイルス感染を心配し、訪問延期等の連絡がある
- ・ショートが利用できなくなり、相談が増えた
- ・通所や短期入所利用の是非
- ・感染症対策について、デイケアなど通所を利用しても良いのか、休業になったデイの代替サービスについて
- ・コロナウイルスのことで、デイ等の利用をどうするか、デイ等が休業になった場合はどうすればいいか、等の相談や質問がある。(利用者の不安が増えている)

利用者宅訪問についてはどのように対応していますか。対応方法についてもお書きください



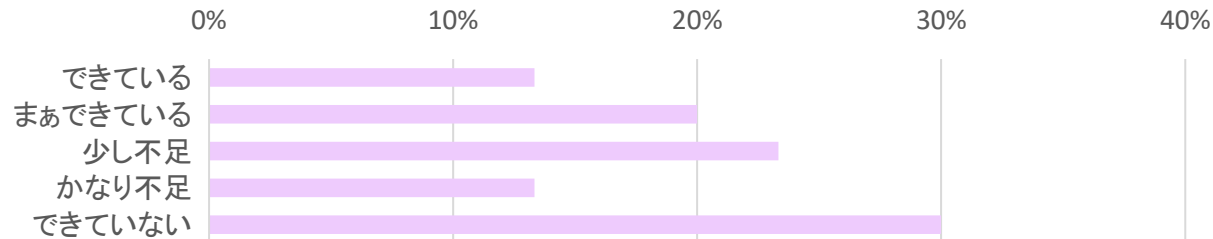
- ・アポは取るが、半数の方がTELにしてほしいと仰る。渡して説明必要な場合なども、玄関先で離れて数分で退室
- ・変わらない利用者様、同居の家族様がいる方へは電話での聞き取りetcで対応。認知症があるか状態変化ある方(独居の方)は訪問している
- ・コロナの影響を説明し、玄関でモニタリング対応している。利用票の印鑑も頂く
- ・電話で対応の希望を確認して訪問中止や、玄関先での対応が増えている
- ・訪問拒否の利用者宅には利用票をポストイン
- ・不安で訪問拒否の方のみ電話等で対応
- ・マスク装着状態で面談。向かい合わないようになっている 距離を開ける
- ・法人から説明文を渡し、訪問するリスクなどを説明し、電話にて一旦モニタリングした後、必要である又は訪問希望が強くある場合、訪問
- ・ケアマネ、利用者、家族ともにマスク着用、発熱や風邪症状があれば延期、2方向で換気
- ・事前に訪問許可を得て、玄関先で手の消毒、訪問中もマスク着用。ご利用者にもマスク着用を依頼し短時間で

ご利用者に、新型コロナウイルス感染(感染の疑い)がおられる場合の対応はどのようにしていますか。おられる場合は現在の対応方法を、現在おられない場合は、予定している対応方法をお答えください。

- ・主治医に連絡して対応の指示を受ける
- ・防護服、マスク、手袋、ゴーグルなど事業所内で2set準備。それを持参して着替えて入室することを利用者様に説明して対応
- ・保健所に報告し、指示に従う

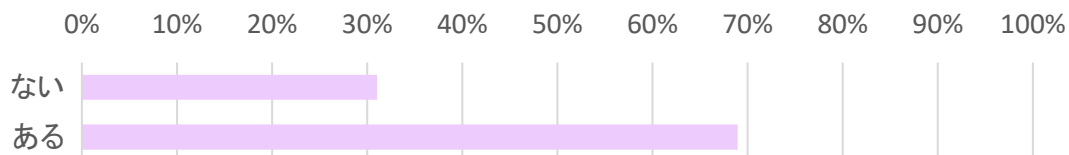
- ・大阪市新型コロナ受診相談センターにtelするように、また新型コロナに関する一般的な質問は、区役所にtelするよう説明。又は、主治医に相談するように説明
- ・訪問する場合は、マスク、手袋を着用し、利用者にもマスク着用して頂く。2方向で換気。かかりつけ医から新型コロナ受診相談センターに相談してもらうよう依頼
- ・サービス調整を、まず電話にて相談、状況確認、共有
- ・感染された利用者へは訪問を中止し、TELでのモニタリングとさせて頂く
- ・感染する危険性があるため訪問はしない。家族様対応
- ・外部サービスの中止(利用の見合わせ)。通院→薬だけの場合の検討
- ・手袋、マスク、事務所に戻ってから手洗い、うがい消毒を行う
- ・まず家族がおられる方は自宅検温していただき報告TELをもらう。37.5℃以上の方はサービスを検討や時短で様子を家族に診てもら(Drより指示いただく)。独居の方は検温し記録。37.5℃以上でCM連絡、CM→Drに指示頂く(往診か緊急性あるか)/CM→親族TEL
- ・予防衣、ゴーグル、使い捨て手袋、マスクなども法人として用意はあるが、ケアマネではなく直接介護する人優先
- ・感染や疑いがある人のお宅へは、感染拡大防止のためにも行かないようにする。必要時、適切な対応ができてるか助言や状態の確認を行う
- ・感染用の汚物処理セット(シューズカバー、ガウン、手袋)は事務所に用意している
- ・主治医に相談。サービス事業者を利用者の現状を伝えた上で、感染症対策をしてサービス継続可能か伺う。家人がいる場合は家人に対応してもらう

ケアマネジャー(CM)が感染した場合の対策はできていますか(そのCM担当の利用者への対応など)



- ・事業所は2週間閉めて、利用者、事業所には電話で対応
- ・一人ケアマネの場合、困難である
- ・テレワークOKといわれているが、なかなか書類やパソコンがありできていない。
- ・システム上情報漏洩防止のため、在宅ワークが難しい
- ・全員タブレットを持ち、他の担当者についても情報共有しており、代理が可能
- ・事務と私だけなので利用者へは事務より行き、サービスに対しては担当で話し合い連携いただく
- ・代行、事業所内のCM(又は法人内の居宅)で対応、又は電話にて対応
- ・利用者の情報共有、通常のサービスが途切れることなく提供できるようにしている
- ・自分が万が一何があっても、他のケアマネでも対応できるよう、コロナに限らず、利用者やサービスの情報共有は常日頃行っている。何かあった際は、基本的に管理者が対応してくれる。パソコン等個人情報を持ち帰れないので、自宅では電話対応ぐらいしかできない
- ・まだ感染者はいないが、マニュアルを作成し、対応できるようにしている
- ・濃厚接触者として判断された段階で自宅待機とし、大阪市介護保険課に報告。PCR陽性となった場合は、保健所の指示に基づき休職する。休職者分の業務は残りの職員でフォロー

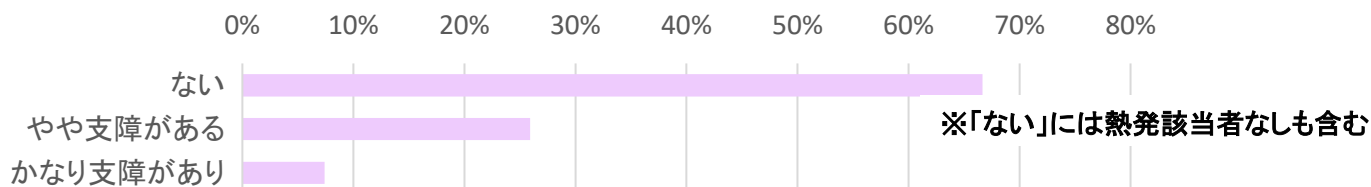
新型コロナウイルスに感染したくないという理由で、利用を中止している利用者がおられますか



事務所内の3密(密集・密接・密閉)を防ぐ工夫はされていますか？現在の対応をお書きください。

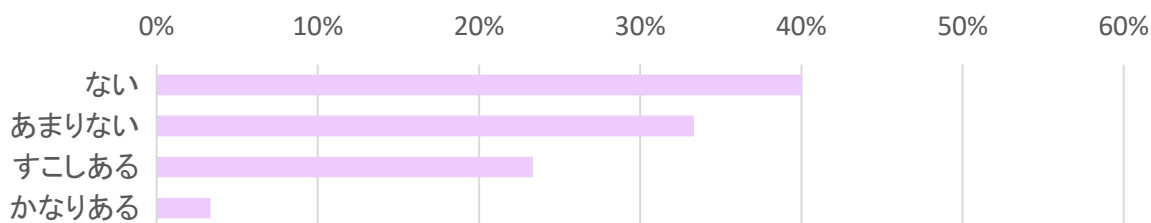
- ・食事の時間をずらす。
- ・次亜塩素酸利用の加湿器
- ・タブレットをケアマネ、ヘルプスタッフ、事務員とも法人から供給されており、在宅勤務、直行直帰で三密回避
- ・密集場所への行動自粛、マスク、手洗い、うがい、難聴者へは小型ボードを持って行き説明
- ・朝礼や会議を多人数でしないよう、グループラインで行ったり、ネット会議や事務員も交代性で出勤
- ・来場者用手指消毒液を入口に設置。来場者が帰るたびに机やイスを消毒。朝出勤時、全ての物品を消毒。職員も出勤時・退勤時には手指消毒および衣服消毒。次亜塩素酸入り空気清浄機を使用
- ・時差出勤、有給消化、食事は対面しない
- ・公休をずらす、ビニールで仕切る

ご利用者に発熱などの症状があった場合、病院受診に支障(受け入れてもらえない等)が生じていますか



- ・脱臼の疑いがあり、往診ドクターに相談、救急車を呼ぶよう指示があったため来てもらったが、熱がその際37.1℃あり、救急車に乗せられないといわれ、自分で受け入れ病院を探した
- ・救急車を要請し、隊員に探してもらいました。12病院に断られてやっと見つかる状態
- ・関西医大に通院している利用者が、発熱があった時、受け入れを断られた
- ・熱があったら病院 30-40電話したりする
- ・利用者は主治医の先生に相談ができるが、家族に何かあった場合(発熱等)、近隣の医院に通院しても診てもらえないという相談がある
- ・病院側がカルテの無い新規患者は受けないと言われた
- ・病院に連絡しても、しばらく様子を見るように言われることがある

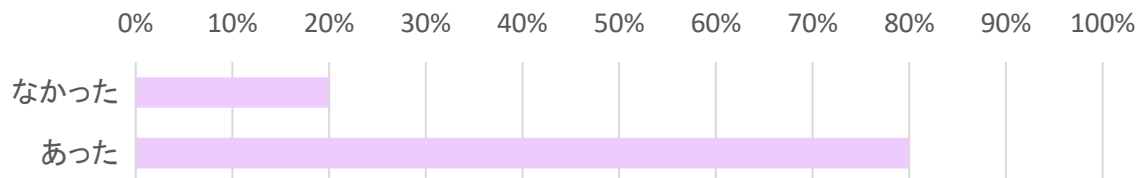
利用者の定期的な通院や、主治医の意見書のための通院などに支障が生じていますか



- ・異常なしと考えれば内服のみの対応求められる → 異常の早期発見できない
- ・以前からある咳や痰でも連れて行っていいか迷う

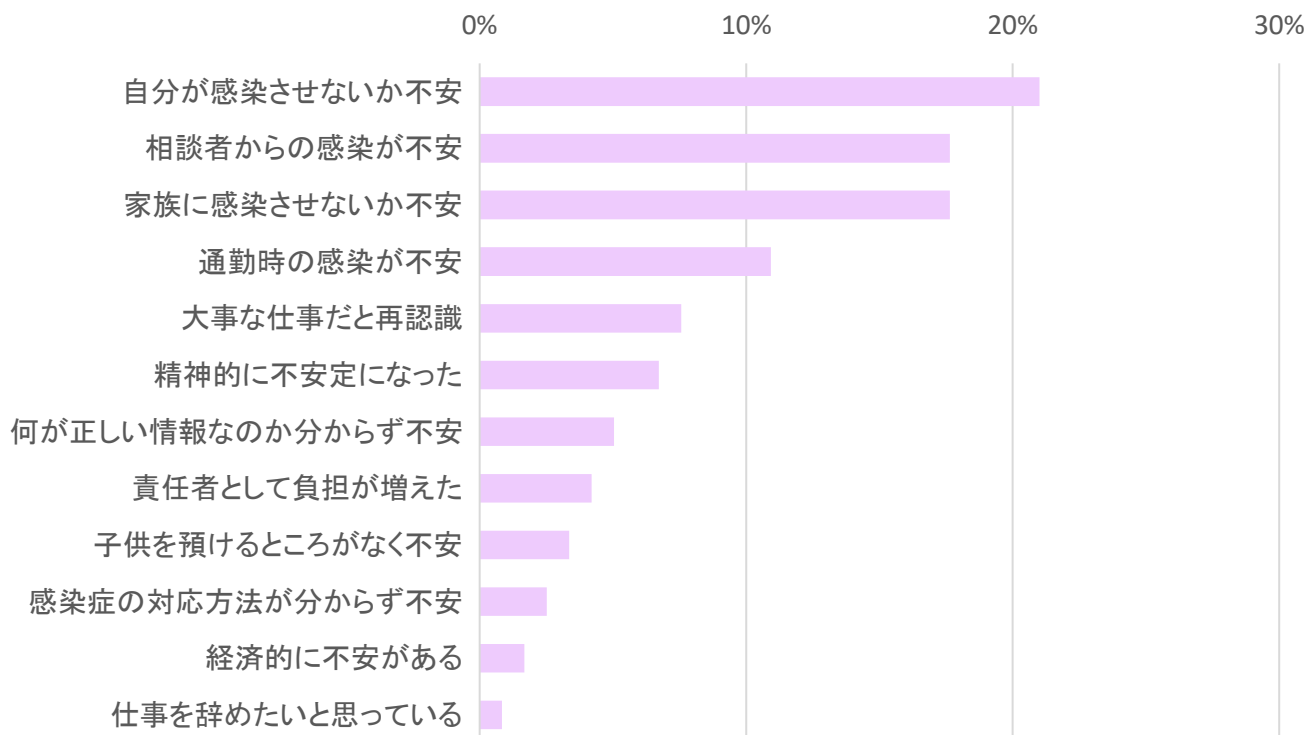
- ・大きい病院の場合は、自主的に通院予定を延期されたり、家族が代理で行く場合もあり
- ・感染リスクを恐れ病院に行きたがらない人がいる。家族・ヘルパーが薬をもらいに行くことあり
- ・血液検査の結果を求められるが、内科医はTEL診でいい。本人は行きたくない。整形は連れて来てほしい
- ・高齢者自身が感染を恐れ、自ら必要な受診をしていないのでは？と思うことがある
- ・手術が延期となった
- ・クリニックや病院から利用者へ電話で問診あり、内服薬を処方して下さる臨機応変な対応があり、支障ありません

新型コロナウイルス感染症の影響で、ご利用者の在宅サービスの利用等に支障がありましたか。



- ・デイサービスの中止によるヘルパーサービスやデイサービスの変更(回答多数)
- ・ショートを受け入れ中止(回答多数)
- ・デイの(回数/時間)減や閉鎖、新規拒否。ショートの新規/短期間入所)拒否
- ・デイサービスの新規利用は困難
- ・ショートステイ先から戻せない(一度出ると受け入れ不可)
- ・自宅療養(感染疑い)の方のケア、訪問系の調整
- ・デイサービス等の利用を控えている人も多々いらっしゃる
- ・ケアホームやサ高住の利用者には面会出来ないため、訪リハや訪看のケアが出来ない
- ・認知症対応型デイが休業となり、他デイの一時的利用も受け入れ困難

新型コロナウイルス感染症をきっかけとした、気持ちや環境の変化がありましたか。(複数選択可)



現在、業務で困っていること、その他意見がありましたら何でもお書きください

- ・事業所で感染者が出た場合、出勤停止で自宅待機になるが、給付管理のタイミングだと請求業務ができなくなる。同じ事務所にヘルパーステーションもあるので迷惑をかけてしまう
- ・入院中の利用者が転院の話が出た時に、現状のコロナ自粛体制時になかなか次の転院先が決まらず、家族から不安の相談があるが、この時期で連携が上手くいかないケースもある
- ・介護サービスを必要としている方がおられるのに、デイサービスや訪問介護等が利用できなくなった時に、対応をどうしたらいいのか不安。受け皿がなくなると調整できず。遠方の家族様がCMIに依頼してくることがある
- ・ケアマネ連絡会等が中止で情報が入らず、有志でやり取りしてる
- ・介護相談と共に生活困窮相談増えている、つなぎようがない
- ・精神の方の不安が多くなっている
- ・サービス中止の方でも、電話対応したり、訪問もしているケースあり。サービス事業所は安否確認でも報酬があるが、支援費はなく、居宅支援は無報酬
- ・衛生材料が足りない
- ・電話での状態確認では把握できない事もあり、このまま続くと困る
- ・利用者から業務以外の相談(マスクを作ってほしいなど)がある
- ・自分が感染又は無症状感染者となり、家族や利用者さん職員に感染させてしまったら…という不安は常にあり毎日すごくストレス。せめて人との接触を少しでも減らせる様、業務も一時的に緩和されてほしい。TELで済ませられる事はTELで、役所へもTELや郵送で手続き等できればリスクも軽減できるのではないのでしょうか
- ・極力濃厚接触を避けたい為、オンライン診療での処方や、薬の期間の延長などお願い致します
- ・今後増える濃厚接触者での自宅待機、療養のケアに訪問介護等、調整つくのか？
- ・もし自分が発熱してもすぐにPCR検査してもらえないのが現実であり、はっきりと陰性と証明出来なかったら不安がある
- ・日々気をつけているが、細かな部分までのマニュアルがなく、自分や家族、利用者、サービス事業所、どこで感染者が出るか毎日不安に思っている。毎日のように情勢ややり方等も変わるので少し大変
- ・ご利用者は居室内では大丈夫と、うながしてもマスクをつけない方が多い
- ・利用者感染の場合、しっかりした介護者が居れば良いが、独居で認知症の方の対応をどの様にすれば良いか分からない
- ・いろんな催しが中止になっているので、高齢者の生活機能低下が心配。外出できないストレス、社会情勢への不安により、高齢者の健康状態に悪影響を及ぼさないか心配
- ・高齢者が自粛期間中の身体的機能低下、抑うつ状態に陥ることが危惧される。他者との接触の機会が減ることによる影響がどのように現れるのか予測しきれていない